

労働問題講演會案内

世界は今何を考へ何を計畫しつゝあるか、我々日本の労働者は何を考へ何を計畫すべきか、我々労働者は國家の礎である。我々の老へ我々の計畫は國家の運命にも關するのである。國家を擔つて起つ我々は聰明であらねばならぬ。然るに四圍の事情は無智と貧乏を我々に強へてゐる。我々は貧乏退治をせねばならぬ。貧乏退治を爲すには先づ無智の惡魔の手から我々は逸れねばならぬ。労働問題講演會は我々が無智の惡魔の手より逸れ出づる爲めの教場であつて、貧乏退治をする戦場である。國家を憂ふるもの、労働者の不遇を嘆ずるもの、人道と自由とに憧るものは來れ、來つて考へよ、考へて自己の運命を開拓せよ。

順序

- 開會の辭 司會者 山本 佐郎
- 労働者演説 各支部有志諸君
- メスの叫び 醫師 山田 清君
- 魂 出版部長 平澤 計 七君
- 手段か目的か 會計部長 松岡 駒 吉君
- 労働者は國の寶 鶴岡 英 文君
- 世界大勢の趨移 文學士 木村 久 一君
- 閉會の辭 早大教授 口 埜

■日時 三月十六日(日曜)午後正七時

■會場 龜戸町女子部小學校(五ノ橋通り)

入場料下足料無料 ぎなたでも歡迎致します

主催 友愛會城東聯合會

(龜戸五ノ橋町十號地)

10930